

(6) 施設園芸脱石油イノベーション推進事業

ア 施設園芸における石油使用量の低減に向けた課題とその解決のために導入する取組の内容

項目	課題	導入する取組	備考
温度管理			
CO ₂ の施用			
作業機械の燃料			
照明等に係る電力			

イ 石油使用量削減効果

石油種類	指標	現在（平成 A年度）	目標（平成 B年度）	効果 （100 - B/A）
A重油	1 m ² 当たり年間使用量	L/m ²	L/m ²	%
	うち 温度管理	L/m ²	L/m ²	%
	うち	L/m ²	L/m ²	%
灯油	1 m ² 当たり年間使用量	L/m ²	L/m ²	%
	うち CO ₂ 施用	L/m ²	L/m ²	%
	うち	L/m ²	L/m ²	%
軽油	1 m ² 当たり年間使用量	L/m ²	L/m ²	%
	うち 作業機械用	L/m ²	L/m ²	%
	うち	L/m ²	L/m ²	%
合計	+ +	L/m ²	L/m ²	%

（注）1 「温度管理」の欄については、施設の加温に用いる石油使用量について記入する。

2 「CO₂施用」の欄については、植物へのCO₂施用に用いる石油使用量について記入する。

3 「作業機械用」の欄については、農業機械、運搬台車等の運転に用いる石油使用量について記入する。

ウ 光熱費の増減

光 熱 源	現在（平成 A 年度）	目標（平成 B 年度）	効 果 （100 - B/A）
A 重油	円/m ²	円/m ²	%
軽油	円/m ²	円/m ²	%
灯油	円/m ²	円/m ²	%
ガス（LPG、天然ガス）	円/m ²	円/m ²	%
電気	円/m ²	円/m ²	%
合計（ + + + + ）	円/m ²	円/m ²	%

エ 生産技術高度化施設

（ア）脱石油型エネルギー供給施設

施設名	施設の能力	発電源	発電費用	施設の管理方法	エネルギーの供給先	備考
	kW		円/kW		棟（台）	

- （注）1 「施設名」の欄については、「トリジェネレーションシステム」又は「小型水力発電」を記入する。
 2 「施設の能力」の欄については、最大出力（kW）について記入する。
 3 「発電源」の欄については、トリジェネレーションシステムの場合はガスの種類（天然ガス、LPG）、小型水力発電の場合は水路名及び最大使用水量（m³/s）について記入する。
 4 「発電費用」の欄については、電力1kWを発電するのに要する費用（トリジェネレーションシステムの場合のみ）を記入する。
 5 「施設の管理方法」の欄については、施設の管理方法（メンテナンスの頻度、自己点検又は外注の別等）について記入する。
 6 「エネルギーの供給先」の欄については、エネルギー（電気、熱）を利用する施設、機械（温室、集出荷施設、電気自動車等）及び棟数（台数）について記入する。

(イ) 低コスト耐候性ハウス

対象作目及び作物名	設置実面積	棟数	温室の形式	温室の特徴 (コスト低減の要因等)	付帯装置の内容	低コスト耐候性ハウスの㎡当り単価	地域の平均的鉄骨温室の㎡当り単価	運営方法	備考
			構造 被覆資材 その他	改良・補強の内容	養液栽培装置 配水施設 カーテン装置 装置	円/㎡	円/㎡		

- (注) 1 「温室の形式」の欄の構造は、耐候性についても記入する。
 2 「運営方法」の欄は、施設の具体的運営方法や土地及び施設の賃借条件等について記入する。

(ウ) 高度環境制御栽培施設

対象作目及び作物名	設置実面積	栽培施設の形式	装置の種類・規格・能力	新技術の内容	生産販売計画	経営収支計画
		鉄骨スレート ガラス温室 ××××				

- (注) 1 「装置の種類・規格・能力」の欄については、空調、照明、環境制御等の装置ごとに記入する。
 2 「生産販売計画」の欄については、作付面積、収穫量、出荷量、販売先等について記入する。
 3 「経営収支計画」の欄については、粗収入及び生産費用について記入する。

(エ) 高度技術導入施設

対象作目及び作物名	設置実面積	装置名	規格・能力	装置を導入する施設の概要	販売先
		養液栽培装置 複合環境制御装置 地中暖房兼土壌消毒装置 装置		建設年月 構造 被覆資材 その他	

(注) 「販売先」の欄は、菌類栽培施設を導入する場合に記入する。

(オ) 温度管理施設

施設名	施設の概要	規格・能力	設置場所	備考
加温設備 冷房設備 ヒートポンプ	××××			

(カ) 受変エネルギー施設

設置場所	施設場所の概要(栽培作物、面積、棟数)	備考
低コスト耐候性ハウス ガラス温室	××××	

オ 集出荷貯蔵施設
 (ア) 集出荷貯蔵施設

作目 及び 作物 名	栽培面積		生産量		利用農家数		集出荷 施設の 種類	施設数		処理量		1日当たり 最大処理		出荷時期		総出荷量		出荷先 別割合 (%)	備考
	現在	目標	現在	目標	現在	目標		現在	目標	現在	目標	現状	目標	現状	目標	現状	目標		
	ha	ha	t	t	戸	戸		か所	か所	t	t	t/日	t/日	月旬 ~ 月旬	月旬 ~ 月旬	t	t		

- (注) 1 「作物名」の欄は、必要に応じて品種別に記載する。
 2 「栽培面積」及び「生産量」の欄は、当該流通施設を利用する集団に係るものとする。
 3 現状と目標を併記する欄については、現状には既存施設の利用状況、目標には既存施設と事業により導入する施設と併せたものについて記入する。
 4 備考欄には、施設の特徴（選別方式（重量選別、カメラ式、光センサー等）、予冷方式（真空式、差圧式、立体自動式等））を記入する。

(イ) 残さ等処理施設

施設の概要・処理内容	処理量	備考
	t	

(ウ) 受変電施設

設置場所	施設場所の概要（取扱作物、面積、棟数）	備考
集出荷施設 予冷施設	××××	